

広報

こうさ

【巻頭特集】平成27年度甲佐町産業文化祭

ニラ飛ばしのギネス記録に挑戦

CONTENTS

- 04・特集 平成27年度甲佐町功労者表彰・町合併60周年記念式典
- 06・こうさの話題 町内小・中学生3人が九州大会に出場
- 08・町からのお知らせ 耐震診断・改修工事の費用を助成します
- 10・私のおすすめ図書 石原 桜さん（津志田区）
- 20・Kosa Style 豊永 康法さん（横田区）

No.557

December 2015

12

郷土の豊かな実りと文化の薫る秋の祭典

平成27年度甲佐町産業文化祭

実りを喜び文化を楽しむ
彩り豊かな秋のイベント

11月8日（日）平成27年度甲佐町産業文化祭が、町役場、町生涯学習センターなどで開催されました。

町、上益城農業協同組合、甲佐町商工会、甲佐町文化協会の共催。農業祭・商工祭は、町役場北側広場に特設ステージを設けての各種イベントを開催。甲佐中学校吹奏楽部の演奏やミカンのつかみ取り、甲佐町商工会のバザー、バナナのたたき売り、ニラ飛ばし大会、産業文化祭恒例のもち投げや農産物即売会、大抽選会などが行われて大盛況。町生涯学習センター・ホールでは、竜野保育園児によるマーチングも行われ、会場からは温かい声援が送られました。

会場には、商工品の展示即売などの模擬店も出店。町内の生産者などが栽培した農産物や調理した



●産業文化祭の各会場で、農産物・加工品の展示やステージ発表、文化作品の展示などがありました。町役場北側広場の特設ステージでは各種イベントが開催され、ミカンのつかみ取り、バナナのたたき売り、ニラ飛ばし大会、1,000人ニラ鍋、上益城消防の消火器操作などが行われ、多くの人でにぎわいました。



▶農業祭部門の表彰式（写真左と受賞者（右）



農業祭部門の表彰式を開催

町生涯学習センター・ホールで、農業祭部門の表彰式が開催されました。

町内で生産された農産物や加工品90点の中から、県上益城地域振興局および上益城農業協同組合が品質や見た目などの項目で審査。入賞した果樹や野菜の生産者などが表彰されました。

●農業祭部門最優秀賞受賞者

- ▶果樹の部 遠山敏勝さん（西寒野区）
- ▶野菜の部 長尾耕一さん（津志田区）
- ▶ニラ（野菜）の部 作本正美さん（吉田区）
- ▶花きの部 山下康彦さん（船津区）
- ▶農産物加工品の部 宮岡政之さん（津志田区）

加工品などの展示や搾りたて牛乳の無料サービス、おにぎりの引き替え会、1,000人ニラ鍋の販売、上益城消防本部による救命工作車などの見学会、ニユー・スポーツ体験、体力測定、血圧と血管年齢測定会なども開催されてにぎわいました。また、本町産のニラを使ったニラ料理コンテストでは、甲佐高校の「ニラのかりんとう」が最優秀賞を受賞しました。

町生涯学習センターで開催された文化祭には、甲佐町文化協会の45団体が参加。同センター・ギャラリー・モールなどでは、絵画、版画、水墨画、書道、陶芸、写真、生け花や、俳句、肥後狂句などの文芸作品、木工品、パッチワークなどの手工芸品を多数展示。来場者は、さまざまな文芸作品をじっくりと鑑賞しました。

同センター・ホールでは、文化祭発表会を開催。謡曲や詩吟、民謡、大正琴、三味線、オカリナ、コーラス、日舞、洋舞、相撲甚句、など約200人がステージ発表し、会場に大きな拍手が響きました。

また、11月7日（土）には、甲佐町音楽教育連盟による発表会「わかあゆコンサート」も開催。保育園児や小・中学生がピアノの演奏や独唱などを披露しました。



● 役場北側駐車場では上益城消防による消火体験やニラ料理コンテストの試食・審査を実施しました。また、同ホールでは、文化協会所属団体などによる発表会が開催され、コーラス（写真下）や日舞（左）、洋舞などが披露され、たくさんの方が文化の秋を楽しみました。



平成27年度町功労者表彰式 町合併60周年記念式典



▲式典であいさつをする奥名克美町長

■功労者をたたえて

11月3日（火・祝）町生涯学習センターで平成27年度功労者表彰式および町合併60周年記念式典が開催されました。

功労者表彰は、町が「町功労者表彰規程」に基づき、多岐にわたり活躍し町に貢献された7人を表彰。町、町議会、区長会を始めとする関係者約130人が出席しました。

表彰式では、受賞者1人ひとりに奥名克美町長が表彰状と記念品を贈呈。「自治」、「福祉」、「スポーツ」の各分野における功労をたたえる功労と、多分野に渡る功績に対して贈る特別功労により、表彰された7

人の名譽をたたえました。

功労者を代表して、宮澄安一さん（中横田区）が「たくさんの方に祝福していた、だき感謝申し上げます。この功績も住民や周りの皆さんののおかげだと思っております。今までに学んだことを次の世代に伝えていくことが私たちの仕事と、力を尽くしていきます」と謝辞を述べました。

■60周年記念式典

町合併60周年記念式典は、旧甲佐町、宮内村、竜野村、乙女村、白旗村が昭和30年に合併して60周年を記念して開催され、式典では、奥名町長が「皆さんのご支援とご協力のおかげでこの式典を開催することができました。今後も住民の皆さんが住んで良かったと思える、活力あるまちづくりを目指して努力します」とあいさつしました。

式典後には、記念講演会を開催。本町出身で海上自衛隊第29代海上幕僚長の赤星慶治さんが「国を守る・人を守る」をテーマに講演しました。

平成27年度甲佐町功労者の受賞者



福祉功労

岩村 辰雄さん
〔南三箇区〕

町社会福祉協議会理事、同協議会副会長、町嘱託員



自治功労

宮澄 安一さん
〔中横田区〕

町議会議員、町ソフトボール協会会長、町体育協会副会長、町嘱託員、竜野地区社会福祉協議会副会長、龍の舞・龍神太鼓保存会会長



特別功労

池田 春水さん
〔大町区〕

町消防団長、町民生委員・児童委員（大町・有安区）、町農業委員会委員、町土地改良区理事長



特別功労

甲斐 博さん
〔下豊内区〕

上益城農業協同組合代表理事組合長、同組合代表理事、町民生委員・児童委員、町嘱託員



スポーツ功労

緒方 秀壽さん
〔糸田区〕

日本陸上競技連盟公認審判員、町陸上協会副会長、町体育協会理事、町陸上協会理事



自治功労

高田 康夫さん
〔早川区〕

町社会教育指導員、町公民館館長、郡公民館連合会会長、県公民館連合会副会長



自治功労

西坂 親さん
〔南三箇区〕

町議会議員

【功労者説明】功労の表彰分野、功労者氏名、行政区、表彰に該当すると認められた経歴および功績など

12月は、国民健康保険制度の適用適正化月間

社会保険を脱退または加入したときは届け出をお忘れなく

■国民健康保険の資格変更があった場合は届け出を

国民健康保険は、74歳までの人で社会保険（職場の健康保険・共済組合・船員保険なども含む）の被保険者およびその被扶養者を除く、すべての人に加入していただく制度です。

社会保険を脱退または加入など資格の変更があった場合は、町住民生活課まで届け出をお願いします。

●社会保険の被扶養者になれる場合があります

同じ世帯にお勤め先の健康保険加入者がある場合、その加入者の保険の被扶養者として認定されることがあります。扶養認定がされるかどうか、あらかじめお勤め先に相談してから資格変更の手続きをしてください。

▼被扶養者の範囲

- ① 被保険者と同居していても被扶養者となる人
 - ・配偶者（内縁関係でもよい）
 - ・子、孫および弟妹
 - ・父母、祖父母などの直系尊属
- ② 被保険者と同居していることが被扶養者となる条件の人

- ・①以外の3親等内の親族（孫、配偶者の父母や子、兄弟、伯叔父母、おい・めいなど）
- ・内縁関係の配偶者の父母と子（当該配偶者の死後も、引き続き同居する場合を含む）

▼被扶養者の年収の目安

- ① 年収130万円未満で、かつ扶養する人の年収の半分以上であること
- ② 60歳以上または一定の障がい者の場合は、年収180万円未満であること

万円未満であること

■所得の申告は申告期間に忘れずに行いましょう

国民健康保険に加入している人は、所得の申告が必要です。申告をしないと、国民健康保険税の軽減が受けられなかったり、医療費の限度額認定の正しい判定ができなくなったりします。

まだ申告が済んでいない人は、町税務課までご相談ください。

▼お問い合わせ先

- ・国民健康保険について
町住民生活課

☎ 096・234・1113

（内線106）

✉ klg106@town.kosa.lg.jp

- ・所得の申告について
町税務課

☎ 096・234・1112

（内線115）

✉ klg115@town.kosa.lg.jp

■国民健康保険の資格の変更時に必要な手続き

届け出項目	国民健康保険加入届	国民健康保険脱退届
届け出が必要な場合	社会保険を脱退した場合	社会保険に加入した場合
手続きに必要なもの	・社会保険を脱退した証明書（離職票・資格喪失証明書など） ・印鑑	・社会保険被保険者証 ・国民健康保険被保険者証（今まで使用していたもの） ・印鑑
手続きが遅れると…	社会保険の資格喪失日まで、さかのぼって課税され、高額な保険税が発生する場合があります。	国民健康保険税が課税されたままで、社会保険料と両方納めている状態になります。



▼九州大会に出場した田上くん（写真右）、仲原さん（中）、井芹さん（左）



水泳九州大会に出場

町内の小・中学生3選手が活躍

9月26日（土）・27日（日）鹿児島県で開催された第47回九州ジュニア水泳競技大会に、町内小・中学生3人が出場し活躍しました。

田上大翔くん（甲佐中3年・下横田区）は、100メートル自由形と200メートル自由形に出場。100メートル自由形決勝では55秒89のタイムで7位に入賞しました。田上くんは、「100メートルは自己ベストを出せてうれしかったです。もっと良いタイムを目指します」と話しました。

女子50メートル自由形に出場した仲原乙葉さん（龍野小5年・中横田区）は、「100メートルは良い記録が残せたのでうれしかったです。次の大会でも良いタイムが出せるようにがんばります」と話しました。

女子50メートル自由形と50メートルバタフライに出場した井芹由依奈さん（白旗小5年・糸田区）は、「緊張して体が思うように動かなかったのですが、次の大会では自己ベストを出せるよう練習します」と話しました。

親から子へつながる心

竜野保育園で3世代交流会を開催

11月14日（土）竜野保育園（吉本征一郎園長89人）で、3世代交流会が開催されました。

同交流会は、稲刈りの時期に豊作を祝うとともに、日ごろお世話になっているおじいちゃん、おばあちゃんに感謝の気持ちを伝えることを目的に、同園が主催。園児の祖父母や保護者などが園児たちと交流しました。

ステージ発表では、歌の発表や年長組による稲を植えてからお米ができるまでの様子を表した寸劇を披露し、豊作を共に喜びました。



▲稲刈りの様子を体で表現した寸劇を披露する園児たち



▲合唱コンクールでは3年生による全員合唱が行われた

中学生による文化の祭典

甲佐中で「わかあゆ文化発表会」を開催

10月25日（日）甲佐中学校（加藤敬之校長252人）で、第1回「わかあゆ文化発表会」が開催されました。

文化を通して生徒たちと保護者や地域住民の交流を図ることを目的として、例年実施される合唱コンクールを拡大して同中が主催。同中体育館でのステージ発表では、合唱コンクールや人権作文の発表、英語暗唱発表や吹奏楽部の演奏などが行われました。

校舎内の廊下などには、書道作品や職場体験学習新聞の展示もあり、会場はたくさんの来場者でにぎわいました。

動物の命を大切に

白旗小で「犬とのふれあい方教室」

11月16日（月）白旗小学校（岩下勇治校長99人）で「犬とのふれあい方教室」が開催されました。

同教室は、犬にかまれる事故軽減や子どもたちの動物を愛する心をはぐくむことを目的に、県動物愛護センターが県内各小学校などで実施。同小1・2年生37人が参加し犬の心音を聞いたり犬の習性や行動を確認したりして、触れる時の注意点や野良犬に遭ったときの対処法などを学びました。

児童は「野良犬に遭ったら、走って逃げないように気を付けます」と話しました。



▲飼犬に遭ったときの触れ方について学ぶ児童たち



◀町消防団員と一緒にもちつきを楽しむ園児たち

親子で火災予防もちつき

町消防団と若草保育園幼年消防クラブ

11月6日（金）若草保育園（元村伴子園長92人）で「防火もちつき」が行われました。

同イベントは、秋の全国火災予防運動に合わせ、町消防団（松尾憲親団長495人）が幼年消防クラブのある同園で開催。消防団活動への理解と協力、火災予防への呼び掛けなどを目的に、本部役員や保護者なども参加して実施。園児たちは大きな掛け声とともに杵を振り、火災予防を願ってもちをつきました。

つき上がったものは、町内の福祉施設などに届け「火遊びは絶対にしません」と宣言して手渡しました。

楽しく学べる英会話教室

甲佐高校を会場に町教育委員会が開講



▲講師のリアム先生から、英語を読む力や正しい発音を身に付けることのできる「フォニックス」で英語を学ぶ受講生

11月12日（木）甲佐高校（山下由美校長129人）の空き教室を活用して、第1回「甲佐町英会話教室」が開講されました。

同塾は、同校の特色ある教育活動を支援するとともに、グローバルなまちづくりに向けて、子どもから大人までの幅広い人々が英会話に親しむ異文化交流の場を設けることを目的に、町教育委員会が主催で毎週木曜日に開催しています。

町A L Tのリアム・ノーランさんと丁畑望さん（町社会教育課）らが、音とスペルの関係性を学ぶことで英語を読む力や正しい発音を身に付けることができる学習方法「フォニックス」を中心に講義。甲佐高校生徒と町内の子どもからお年寄りまで56人が受講しました。

講義はすべて英語で行われ、簡単なあいさつをはじめ季節のイベントなどをテーマに単語や会話、日本と外国の文化の違いを学びました。

参加者は、「英語の基礎からゆっくり学ぶことができて楽しかったです」と話しました。

住宅耐震

耐震診断・改修工事の費用補助をします



住まいの安全性を確認して災害などに備えましょう

■あなたの「お住まい」は安全ですか

町では、住宅の耐震診断や耐震改修工事費用の一部を補助します。

平成12年5月31日以前に着工された建築物は、耐震性が劣る危険性があると言われています。

耐震診断（精密診断）を受け、お住まいのどの部分が弱いのかを調べ、耐震改修工事に生かしてみませんか。

▼補助対象建築物

- ・町内に所在する戸建木造住宅で現に居住しているもの
- ・平成12年5月31日以前に着工したもの
- ・過去に耐震診断・改修工事をして補助金をもらっていないもの

・在来軸組構法によって建てられた平屋建て、もしくは2階建のもの

詳細については、町建設課にお問い合わせください。

▼補助対象者

住宅の所有者で、町税などの滞納がない人

▼補助金額

○耐震診断

耐震診断（精密診断）に要する費用の3分の2以内の額で、1戸につき8万6,000円を限度とします。

○耐震改修工事

耐震改修工事および工事監理に要する費用の50%（町外業者が施工する場合は40%）以内の額で、1戸につき100万円を限度とします。

耐震診断・改修補助制度を利用する際には申請が必要ですので、建設課までお問い合わせください。

▼お申し込み・お問い合わせ先

町建設課

☎096・234・1183

（内線162）

✉klg209@town.kosa.lg.jp

町建設課 ☎096-234-1183(内線162) ✉klg209@town.kosa.lg.jp

国民年金

■国民年金後納制度で将来の年金額を増やせます

時効で納めることができなかった国民年金保険料について、平成30年9月までの期間に限り過去5年分まで納めることができる後納制度があります。例えば、平成27年12月に後納申し込みをして同月に承認が行われた場合は、平成22年12月分まで遡って後納することができます。月末に申し込みをされた場合は翌月の承認になることがありますので、平成23年1月分までの遡りとなります。

後納制度を利用することで年金額が増えたり、納付した期間が不足して年金を受給できなかった人が年金受給資格を得ることができ

国民年金保険料の納め忘れはありませんか



詳しくは町住民生活課にお問い合わせください

たりします。過去5年間に納め忘れた保険料がある人は、ぜひ後納制度をご利用ください。

●後納制度の申し込み・納付書の再発行のお問い合わせ先

・国民年金保険料専用ダイヤル

☎0570・011・050

・050から始まる電話で掛ける場合

☎03・6731・2015

▼受付時間

毎週月曜日

午前8時30分～午後7時

毎週火～金曜日

午前8時30分～午後5時15分

第2土曜日

午前9時30分～午後4時

※お問い合わせの際は、基礎年金番号が分かるものをご用意ください。

※ナビダイヤルは、一般の固定電話から掛ける場合は全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。ただし、携帯電話などや050から掛ける場合は、通常の通話料金が掛かります。

▼お問い合わせ先

熊本東年金事務所

☎096・367・8144

町住民生活課 ☎096-234-1113(内線104) ✉klg106@town.kosa.lg.jp

年末年始のごみ収集・し尿くみ取り計画（12月24日〔木〕～1月5日〔火〕）

● 家庭ごみ収集

	収集地区	収集日	クリーンセンターへの直接持ち込み
年 末	星の川団地、立岩団地、竜野地区（上早川五区・あゆの里緑川団地を除く）、乙女地区、白旗地区	12月24日（木） 12月28日（月）	・通常持込期限 12月29日（火） ・通常持込時間 午前9時～午後4時30分 ※持込時間厳守 ・持込料 100円/10 ^{kg} ※個人・事業者の持込可
	宮内地区、立岩団地、甲佐地区（星の川団地を除く）、上早川五区、あゆの里緑川団地	12月25日（金） 12月29日（火）	
年 始	星の川団地、立岩団地、竜野地区（上早川五区・あゆの里緑川団地を除く）、乙女地区、白旗地区	1月4日（月）から	1月4日（月）から 通常持ち込み
	宮内地区、甲佐地区（星の川団地、立岩団地を除く）、上早川五区、あゆの里緑川団地	1月5日（火）から	

▶ お問い合わせ先 御船町甲佐町衛生施設組合（クリーンセンター） ☎ 096 - 282 - 0688

● し尿くみ取り

	収集地区	くみ取り日	備考
年 末	全地区	12月28日（月）まで	年末は非常に混み合いますので、早めにし尿くみ取り業者にお申し込みください。
年 始	全地区	1月4日（月）から	通常受け入れ

▶ お申し込み・お問い合わせ先

・甲佐地区（東寒野区・西寒野区・上豊内区の一部・星の川団地の一部を除く）

米村衛生社 ☎ 096 - 234 - 0308

・宮内地区、甲佐地区（東寒野区・西寒野区・上豊内区の一部・星の川団地の一部）、竜野地区、乙女地区、白旗地区

甲佐衛生社 ☎ 096 - 234 - 1217

町環境衛生課 ☎ 096-234-1169（内線 252） ✉ klg210@town.kosa.lg.jp

男女共同参画

■ あなたは性別役割分担意識にとらわれていませんか

（問1）Aさんが夕食の支度をしているとき、玄関のチャイムが鳴りました。息子が応対に出るとセールスの人でした。その人が「お母さんはいますか」と尋ねると、息子は「出掛けてます」と答えました。なぜ、息子はそう答えたのでしょうか

（問2）父親とその娘がドライブから帰る途中、中央線を越えてきた対向車と衝突し、父親は即死。娘は意識不明の重体で、救急車で病院に運ばれ、手術を受けることになりました。ところが、手術室に入った外科医が「これは私の娘だ」と叫びました。さて、この3

「男は仕事、女は家庭」性別役割分担意識



あなたは先入観で「役割分担」していませんか

人の関係はどういうものでしょう。
● 男女共同参画を考える上で重要な意識を持ちましょう

これら2つの問いに答えるとき、私たちの邪魔をするもの。それが先入観です。

問1の答えは「夕食の支度をしていたAさんは、男性であり息子さんにとってはお父さんであつたから」です。夕食の支度をしていたAさんを無意識に女性だと認識してしまった人は、おそらくこの問いに答えることはできなかったでしょう。

「男は仕事」「女は家庭」という固定的性別役割分担意識は、男女共同参画の浸透度を測る一つの指標になっています。

問2の答えは「外科医は、意識不明で運ばれた娘の母親であり3人は親子関係である」です。問1と同様、「外科医」を「男性」と認識してしまうと、この問いに答えることはできません。

これらはほんの一例ですが、私たちの中には少なからずこのような固定的役割分担意識という先入観があると言えます。男女共同参画を考える上で、このことを知っておくことが重要です。

町総務課 ☎ 096-234-1140（内線 222） ✉ klg202@town.kosa.lg.jp

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の入荷について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

小さな製作所の新たな挑戦が始まる
池井戸 潤著 / 『下町ロケット 2 ガウディ計画』

小学館

小説

直木賞受賞作品『下町ロケット』の続編。佃製作所に医療機器の開発依頼が持ち込まれた。「ガウディ」と呼ばれるその医療機器が完成すれば、多くの心臓病患者を救うことができるというが…。医療界にはびこる問題や地位や名誉に群がる者たちの妨害が立ちはだかる中、本物の夢と希望と勇気をもたらすために佃製作所の挑戦が始まる。

かわいい絵が魅力のクリスマス絵本
いもと ようこ作 / 『プレゼントの木』

金の星社

児童書

アメリカの「ギビング・ツリー」というクリスマスのすてきな習慣から生まれた絵本。プレゼントをもらえない子どもたちが欲しいものを書いたオーナメントをクリスマスツリーに飾り、それを見ただれかがプレゼントを贈るという他者への無償の愛が生む心温まるおはなしです。子どもの読み聞かせにぴったりのおすすめ絵本です。

多くの命を救った科学者の人生
馬場 錬成著 / 『大村智 2億人を病魔から守った科学者』

中央公論新社

一般書

2015年、ノーベル医学生理学賞を受賞した大村智氏の評伝。夜間学校の教師から一念発起して研究者となった大村氏は、オンコセル力症特効薬の基を開発し、この難病から2億人の人を守った超一流の研究者。それだけでなくすぐれた教育者、経営者、美術愛好家でもあり、読めばその魅力的な人柄に引き込まれてしまうおすすめの1冊です。

切ってびっくりケーキのレシピ集
下迫 綾美著 / 『かくれんぼケーキ』

日東書院

教育・娯楽

ケーキのなかに何かが「かくれんぼ」。かわいいモチーフだったり、スイーツだったり、色とりどりの模様だったり。何がかくれているかは、ナイフを入れるまでのお楽しみケーキのレシピ集。必要な道具や材料、基本の生地作り方が丁寧に解説され、難易度別に紹介してあるので、初心者でも大丈夫。大切な人へサプライズはいかがですか。

● 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)
✉klg110@town.kosa.lg.jp

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

あっと息をのむような白刃の戦い。その白刃を振り回す生来の喧嘩(けんか)好き・土方歳三の生涯を描いた司馬遼太郎氏の『燃えよ剣』を、私はおすすめしたいと思います。

時は動乱の幕末。毎夜毎夜、血の雨が降る京の町に現れた剣豪集団・新選組の副長として剣と生死を共にした歳三の生涯。何を手にし、何を失い、何を

今月の案内人



石原 桜さん
(津志田区)

思ったのかが分かりやすく、人物の心情も丁寧に書いてあります。

この本を読む上で、注目してほ

～ My Favorite Story ～

Read This Story!

私のおすすめ図書

『燃えよ剣』(司馬 遼太郎著)

新選組を創り上げた土方歳三は、最後まではげしく時流に抵抗し、滅びゆく幕府に殉じた。稀代の漢の生涯を巧みな物語展開で描いた傑作長篇小説。

しいのが、歳三の仲間や人脈と、心情の変化です。

戦略と経験を生かしきり、自分の考えを持つ歳三は、仲間と意見が食い違うことがあります。そんな時も正攻法を見つけ出す頭の中で何を考えているのか。見ているこちらにも入り込んでしまいます。

美しくも、はかなく消えた新選組と歳三の命を描いた『燃えよ剣』。町生涯学習センター図

書室で、ぜひ手に取ってみてください。

● あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか？

町生涯学習センター図書室

☎096-234-2447(内線331)

✉klg110@town.kosa.lg.jp

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

▶ 公民館自主講座のご紹介

「大正琴教室」



童謡や演歌、ポップスなど懐かしい曲を大正琴で奏でてみませんか。初心者の人でも歓迎しますのでぜひご参加ください。

●会場

- ・ 終教室
月2回 水曜日午後1時
- ・ なでしこ教室
月2回 土曜日午後1時
- ・ サエラ教室
月2回 金曜日午前9時30分
- ・ 糸田ひまわり教室
月2回 月曜日午前9時30分

●講師

茂永教子さん（御船町）

●お問い合わせ先

町教育委員会公民館事務局

☎096-234-2447（内線321）

◀ 公民館主催講座 「郷土の歴史を訪ねて」

10月22日（木）歴史的遺跡や文化財を訪ねて先人の偉業を学ぶ主催講座「郷土の歴史を訪ねて」を開催し、宇城市の三角西港を参加者27人が訪れました。



▲ガイドから三角西港の歴史について学ぶ参加者たち

今年6月に世界文化遺産に登録された三角西港の石積み埠頭（ふ頭）や排水路など歴史的建造物を、ボランティアガイドから詳しく

く説明を受けながら散策。中でも港の設計に当たったオランダ人水理工師ムルドル氏の将来的な港の土地利用を想定しての設計に、参加者は大変感心しました。見学の帰りには参加者全員でミカン狩りを行い、もぎたての甘酸っぱいミカんに舌鼓を打ち楽しみました。

◀ 第3回町民大学・講演会

「電気事故を防ぐには」

11月18日（水）に町生涯学習センターで、第3回町民大学を開催しました。

九州電力（株）熊本東営業所ホームアドバイザーの網田友香さんが「おうちの中で電気事故を防ぐには」をテーマに講演。電気の安全な使い方や省エネ・節電に

ついて説明しました。網田さんは「待機電力を減らすことで一般家庭で年間使用電力の5・1割、金額にすると5,000円以上の削減ができます」と参加者にアドバイスしました。コンセントやプラグなどの使用電力容量が記載されている箇所や数値の見方について説明を受けた参加者は、「早速、自宅のコンセントの安全確認をしてみます」と話しました。



▲網田さんから節電に関するアドバイスを受ける受講生たち

ついて説明しました。網田さんは「待機電力を減らすことで一般家庭で年間使用電力の5・1割、金

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

● 熊本市人権子ども集会

10月10日（土）熊本市のパークドーム熊本で、「熊本市人権子ども集会」が開催され、町内の小・中学生40人が参加しました。

オープニング（うたごえ）に始まり、「体験・活動報告」（つなぐ・つながる・つなげる）をテーマに全活動がありました。

【県人権子ども集会アピール文】

差別やいじめをなくすために私たちができること、それは、“友だちのことを知る”ということです。

人は1人ひとり生まれた場所も違えば、顔や身長、考え方も違います。また、できることや苦手なことも違います。「この人とは考えが合わないから」「よく知らないから」とはじめてから決めつけるのではなく、「この人はどうしてこういう考えをもつのかなあ」「この人の良いところはどこだろう」と友だちのことを理解すること、知ることによって自分の見方や考え方が変わると思います。（中略）身の回りにある差別も、社会にある差別も、私たちにとって遠いものではありません。私たち1人ひとりが自分のことと

して考え、私たちの手でなくしていかねばならないものなのです。

自分を見つめ、まわりを見つめ、ここにいる私たちから“なかま”の輪を広げていきましょう。

そして、差別やいじめのない未来を自分たちの手でつくっていきましょう。

声高々に読み上げられたアピール文は、参加者全員の大きな拍手によって採択されました。

最後に手話を交えて「世界がひとつになるまで」を皆で歌いながら会場が1つになりました。

介護予防を推進していくために 介護予防モデル事業を実施します

◆地域全体で支える介護予防

これからの介護予防は、人と人のつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進するとともに、地域において自立支援に役立つ取り組みを推進し、生きがい・役割をもって生活できる地域の実現を目指していく必要があります。

「自分でできることは自分でしたい」「ずっと家族と暮らしたい」「住み慣れた地域で生活したい」という思いを実現するためにも、介護予防の取り組みは大切です。

今年度、国の「地域づくりによる介護予防推進支援事業（町村における地域づくりを通じた効果

的・効率的な介護予防の取り組みが推進するよう支援を行なうことを目的とした国と県の事業」を活用して、町地域包括支援センターでは介護予防モデル事業を行います。

また、地域で介護予防を推進していただくリーダー養成として「介護予防サポーター養成講座」も実施しています。

介護予防モデル事業を実施するにあたり、「介護予防サポーター養成講座」参加者が住まれている地区（28行政区）の区長へ、事業実施について意向調査を実施しました。

モデル事業を希望された行政区について町地域包括支援センター

で協議検討の結果、2地区を候補地とし現地視察などを行いました。その結果、介護予防モデル地区には、乙女地区の田原区を選定しました。

◆介護予防モデル事業を実施

介護予防モデル事業は、週に1回2時間程度、約4か月間実施予定です。

介護予防モデル地区説明会を11月17日（火）の午後から田原公民館で実施し、14人の参加がありました。

広域アドバイザーの高知県中芸広域連合保健福祉課の廣末ゆか課長から「介護予防をすすめるために必要な運動方法」のご紹介、都道府県密着アドバイザーの九州看護福祉大学の福本久美子教授から「介護予防を継続して実施していくためのポイント」についてお話していただきました。



▲田原公民館で介護予防モデル事業について説明を受ける田原区民の皆さん

運動は、物を持つ、立つ、歩くなど日常生活で必要とされる動作に必要な筋力を向上させるため、おもりのついたバンドを使用する「いきいき百歳体操」を行います。

また、広域リハビリテーションセンターの理学療法士の講話と体力測定をモデル事業の初日と最終日に行います。

週に1回程度、平成28年2月25日（木）まで実施予定です。

町地域包括支援センターでは、住民が主役として、容易に通える範囲の通いの場で健康づくりや年齢にあった効果的な筋力づくり運動ができるよう支援していきます。

自らの意思で住み慣れた地域で自立した毎日を送ることができると目指して、町地域包括支援センターでは介護予防の取り組みを続けていきます。

介護

あゆみだより

の話

このコーナーでは、毎月、町総合保健福祉センター職員である保健師、社会福祉士などが、健康や福祉、介護、健康診査などに関する情報をリレー形式でご紹介します。



今月の「あゆみだより」は

古閑 裕子 保健師

介護予防を推進していくために、介護予防モデル事業を実施します。モデル地区は、住民が主役として活動する先進地として他地区のモデル的役割を担います。高齢者が容易に通える場所で年齢に合った効果的な筋力づくり運動などを行っていきます。

Smile

わが家の“笑顔”をご紹介します



あきと
上田 煌人 くん (1歳)
父・真一 さん 母・菜津美 さん
(岩下二区)
お兄ちゃん、お姉ちゃん
大好き♡



なぎと
内田 凧人 くん (1歳)
父・壮志 さん 母・ふみ さん
(下横田区)
お兄ちゃん、お姉ちゃん
野球がんばれ



まこ
田中 真来 ちゃん (1歳)
父・一也 さん 母・幸恵 さん
(仁田子区)
1歳になりました(σ^^o)
よろしくね!

Child-Care

12月の子育て支援カレンダー

○ 甲佐保育園 096-234-0186

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 若草保育園 096-234-0013

4日(金) クリスマス飾り作り

18日(金) ミニ発表会見学

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 竜野保育園 096-234-0519

6日(日) 製作展

16日(水) 誕生会

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 乙女保育園 096-234-3947

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 緑川保育所 096-234-0789

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 地域子育て支援センター (竜野保育園内) 096-234-0305

2日(水) 散歩(園周辺)

4日(金) 新聞紙で遊ぼう

7日(月) 戸外遊び

9日(水) 積み木遊び

11日(金) シール遊び

14日(月) 砂場遊び

16日(水) お誕生会(要予約)

18日(金) リース作り

21日(月) 三輪車で遊ぼう

25日(金) クリスマス会(要予約)

28日(月) 折り紙遊び

育児相談(電話・面接)
月～金曜日 午前9時30分～午後4時

体験保育
月・水・金曜日 午前9時30分～正午

12・1月の保健活動

●会場 町総合保健福祉センター

+ 4か月児健診

12月17日(木) 午前9時

1月21日(木) 午前9時

+ 7か月児健診

12月17日(木) 午前10時20分

1月21日(木) 午前10時

+ 10か月教室

12月4日(金) 午前9時30分

+ 1歳6か月児健診

12月8日(火) 午後1時

+ 2歳児子育て相談

1月22日(金) 午前9時30分

+ 3歳児健診

12月8日(火) 午後1時20分

+ BCG予防接種

1月19日(火) 午後1時30分

●健康や福祉、介護、健康診断などに
関するご相談・お問い合わせ先

・町総合保健福祉センター

・町地域包括支援センター

(町総合保健福祉センター内)

☎096-235-8711

✉klg113@town.kosa.lg.jp

●行事などに関する詳しい内容は、各園に直接お問い合わせください。

今月のお知らせ

12

December 2015

Monthly Information

お問い合わせ先一覧

- 町役場
☎096-234-1111 (代表)
- 町教育委員会
(町生涯学習センター)
☎096-234-2447 (代表)
- 町総合保健福祉センター
☎096-235-8711
- 町水道管理センター
☎096-234-0755
- 町民センター
☎096-234-2459
- 町学校給食センター
☎096-234-0255
- 町老人憩いの家
(社)甲佐町社会福祉協議会
☎096-234-0423
- 御船町甲佐町衛生施設組合
(クリーンセンター)
☎096-282-0688
- 上益城消防署
☎096-282-1955
- 御船警察署
☎096-282-1110
- 上益城広域連合
☎096-237-2891
- 県上益城地域振興局
☎096-282-2111
- 県御船保健所
☎096-282-0016
- 県庁
☎096-383-1111

お知らせ

平成28年度保育所入園児の申し込み募集のお知らせ

平成28年4月から保育所への入所を希望する人は、申し込みが必要となります。また、継続して入所を希望する人も同様に申し込みが必要です。

また、育児休暇明けなどで、平成28年度の途中(5月以降)から入所を希望する人も必ず申し込みください。
希望者が多い場合は、希望する保育所に入所できないことがありますのでご了承ください。

▼ 申込受付期間
12月4日(金)～18日(金)
※土・日曜日を除きます。

▼ 申込受付時間
午前9時～午後5時

▼ 入所基準
保育所へ入所できる要件は、

本町に在住で、次のいずれか該当すること

- ・ 就労
- ・ 妊娠、出産
- ・ 保護者の疾病、障害
- ・ 同居または、長期入院などしている親族の介護・看護
- ・ 災害復旧
- ・ 求職活動
- ・ 就学(職業訓練校などの終業訓練を含みます)
- ・ 虐待やDV(ドメスティック・バイオレンス)の恐れがあること
- ・ 育児休業取得中に、すでに保育所を利用している子どもがいて継続利用が必要であること
- ・ その他

▼ 申込書の請求先
○ 町福祉課
☎096-234-1114
(内線143)

☎096-234-1114
(内線143)
✉klg205@town.kosa.lg.jp

○ 各保育所
・ 甲佐保育園

☎096-234-0186
若草保育園

☎096-234-0013
竜野保育園

☎096-234-0519
乙女保育園

☎096-234-3947
緑川保育所

※町公式ウェブサイトからも、申込書用紙をダウンロードすることが出来ます。

URL <http://www.town.kosa.kumamoto.jp/child/hoiku/dl.html>

▼ 申込書の提出先
・ 継続入所の場合
町福祉課、または通所中の保育所

・ 新規入所の場合
町福祉課

▼ お問い合わせ先
町福祉課
☎096-234-1114
(内線143)
✉klg205@town.kosa.lg.jp

成人用肺炎球菌ワクチンの予防接種はお済みですか

今年度の成人肺炎球菌ワクチンの定期接種について、対象年齢を4月にお知らせしましたが、接種を希望する人でもまだ接種していない人はこの機会に接種ください。

▼ 助成期限

平成28年3月31日(木)

▼ 対象者・接種回数

① 平成27年度に65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳・101歳以上の人が

② 接種時点で60歳以上65歳未満、および心臓・腎臓・呼吸器の機能障害およびヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害を有する身体障害者手帳1級程度の人

※過去に成人用肺炎球菌ワクチンの接種をしたことがある人は対象外です。

▼ 接種回数および料金
1人1回 4,000円

日曜当番医

月 日	当番医	電話番号
12月6日	谷田病院	☎096-234-1248
12月13日	甲佐眼科	☎096-235-5600
12月20日	荒瀬病院	☎096-234-1161
12月27日	谷田病院	☎096-234-1248

町税などの滞納処分(10月分)

種 別	件数・金額など
家 宅 捜 索	2 件
動 産 差 し 押 さ え	60 点
交 付 要 求	1 件
公 売 代 金	155,583円

古きを訪ねて甲佐町を知る

甲佐町の文化財探訪 ～第29回～

「国士西村展蔵顕彰碑（敬称略）②」清村一男 町文化財保護委員（下豊内区）

西村展蔵が教育の仕事を辞めた理由は、教育と現実社会との矛盾にあった。

そこで彼は、産業界に身を置きすべての人の幸福を実現するにはどうしたらよいか実践を目指した。しかし結果は惨めなものであった。借金取りに追われる身となりどん底の生活を体験するが、これが彼を人間的に強くした。大正14年3月、自分の理想とする社会の実現のため中国に渡る。

西村は、上海を拠点に精力的に活動を展開する。西村の名声は中国の要人もが知るところとなり、軍部も彼の活躍を認め上海軍特務部政治班長を命ぜられる。しかし考えが合わず辞任し、昭和15年5月25日に帰国することとなる。

日本政府の進める政策は必ず

行き詰まり、国家存亡の危機が来ると予言した西村は、東京を拠点に進むべき要路を説く全国遊説を始める。ここで顕彰碑の碑文を書いた迫水久常と交わることになる。

迫水は当時、終戦内閣と称せられた鈴木内閣の書記官長であった。しかし迫水は、終戦に向けた方策に苦しんでいた。そこで迫水から無事に戦争を終わらせる方策を尋ねられた西村は、丁寧に考えを説明し示唆を与え、迫水はそれを基にして終戦の方途を練り上げた。

昭和20年8月15日午前11時、今上天皇の詔勅により戦争は終わりを迎えた。西村の国の将来を思う深い思索が日本の危機を救ったと言える。「迫水をして、西村を国士」と言わせた訳がここにある。

■お問い合わせ先 町教育委員会社会教育課

☎ 096-234-2447（内線 322） ✉ klg110@town.kosa.lg.jp

※1度接種を受けた人は、再接種により副反応の頻度が高く、反応の程度が強く出ることがありますのでご注意ください。

▼実施医療機関
町内医療機関（荒瀬病院・小室迫医院・谷田病院・桃崎整形外科）
※町外の医療機関での接種を

希望する人は、町総合保健福祉センターでの接種前に手続きが必要です。そのほかの詳しいことは、町総合保健福祉センターにお問い合わせください。

▼お問い合わせ先
町総合保健福祉センター
☎ 096-235-8711
✉ klg113@town.kosa.lg.jp

くまもと食べ残しゼロキャンペーンを実施します

県では、県内のごみを減らすために家庭ごみの約4割を占める「食品廃棄物」の減量化に向けた「くまもと食べ残しゼロキャンペーン」を実施しています。

この時期に増える宴会での

おれ

ふるさと甲佐応援寄附金

「ふるさと甲佐応援寄附金」にご協力いただき、誠にありがとうございました。

町では、心温まるご好意を町の振興のために大切に使用していただきます。引き続き、多くの皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

▼ご寄付いただいた皆様

お名前 住所

坂口 吉一様 神奈川県

ほか4名様

▼平成27年度寄附金額合計

600,000円

（11月15日現在）

▼お申し込み・お問い合わせ先

町総務課

☎ 096-234-1140

（内線224）

✉ klg102@town.kosa.lg.jp

食べ残しをゼロにするなど、身近なところから無理せず楽しく食べ残しゼロを心がけましょう。

▼お問い合わせ先

・県廃棄物対策課

☎ 096-3333-2277

・くまもと食べ残しゼロホームページ

URL www.pref.kumamoto.jp/ki_ji_13537.html

environmental preservation

クリーンセンターへのごみ搬入量（10月分）

種別	搬入量	前月比較	前年比較
可燃ごみ	207,220	△1,570	5,910
資源ごみ	31,090	5,250	8,860
粗大ごみ	6,500	△590	2,140
合計	244,810	3,090	16,910

※単位：kg

traffic safety

交通事故件数

種別	発生件数	前年比較
事故件数	17	(3)
死者	0	(0)
傷者	21	(4)

11月15日現在（カッコ内は前年比較）

fire prevention

出動火災件数

種別	発生件数	前年比較
家屋	1	(△1)
原野	1	(△2)
その他	0	(0)
合計件数	2	(△3)

11月15日現在（カッコ内は前年比較）

お知らせ

パスポート(旅券)の申請はお早めに

パスポート(旅券)の申請・交付窓口は、町住民生活課で行っています。

申請から受け取りまでの手続きに9日間(土・日曜日、祝日および年末年始を除く)掛かります。申請の際には、余裕を持って早めに町住民生活課窓口にお越しください。

お問い合わせ先

町住民生活課

096・234・1113

(内線101)

✉ klg10@town.kosa.lg.jp

危険物取扱者試験を実施

県消防本部では、平成27年度第3回危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

試験の種類

甲種、乙種第一〜第六類、丙種

試験日

平成28年2月13日(土)

試験会場

熊本市

願書受付日

・書面申請

平成28年1月4日(月)〜13日(水)

・電子申請

平成28年1月1日(金)〜10日(日)

※詳しくは、試験案内をご確認ください。

願書などの配置場所

試験研究センター熊本県支部、熊本市消防局、県下消防本部および県総務部に12月7日(月)以降に配置します。

詳しくは、消防試験研究センターのホームページをご覧ください。

お問い合わせ先

消防試験研究センター

096・364・5005

URL <http://shoubo-shiken.or.jp/>

e開催

無料登記相談所を開設

熊本地方法務局では、無料の登記相談所を開設します。

土地・建物などの売買・贈与・相続などの登記に関する相談について、熊本地方法務局職員が対応します。お気軽にご相談ください。

なお、相談には事前の予約

が必要です。

日時

平成28年1月14日(木)

午前10時〜午後4時

※正午から午後1時までを除きます。

会場

御船町役場2階相談室

予約・お問い合わせ先

熊本地方法務局

096・364・2145

鳥獣バスター養成講座を開催しています

くまもと農業アカデミーでは、農作業の合間や外出先でスマートフォンやパソコンなどオンラインで鳥獣対策の基礎知識や実践技術法について受講できる「鳥獣バスター養成講座」を開催しています。受講料は無料ですが、動画が視聴できる端末と動画視聴のための通信料などは各自負担となります。

受講内容の詳細やお申し込みについては、「くまもと農業アカデミー」のホームページで検索または県立農業大学校までお問い合わせください。

お問い合わせ先

県立農業大学校

096・248・6600

・くまもと農業アカデミーホームページ

URL <http://kuma-farm.jp/>

就農を希望される人の相談会を開催します

(公財)熊本県農業公社新規就農支援センターでは、本県に定住し、農業に就業する新たな人材を確保するために、就農希望者や農業法人への就業を希望する人を対象に「県新規就農・就業相談会&体験報告会」を開催します。

「農業は初めて」という人にも県新規就農支援センター・国・県・市町村・県認定研修期間・農業法人などが就農に関する相談を受け付け、情報提供やアドバイスなどを行います。

詳細は、県新規就農相談ホームページをご覧ください。

開催日時

平成28年1月17日(日)

午前11時〜午後4時

会場

ホテル熊本テルサ

参加費は無料で事前の申し込みもありませんので、ぜひお気軽にご参加ください。

お問い合わせ先

(公財)熊本県農業公社新規就農支援センター

096・385・2679

・県新規就農相談ホームページ

URL <http://kuma-farm.jp/>

Sports

ソフトバレーボール & ミニバレーボール大会結果

第13回職場対抗ソフトバレーボール大会

優勝したあゆの里チーム



・優勝 あゆの里
・準優勝 商工会B
・敢闘優勝 総務グループ

●主催・甲佐町バレーボール協会
(芦原博幸会長)

●期日・11月4日(水)

●会場・甲佐小学校体育館

第23回ミニバレーボール大会

優勝したあゆの里チーム



・優勝 あゆの里
・準優勝 上豊内スウィートフィッシュ
・敢闘優勝 チームかんば

●主催・甲佐町バレーボール協会
(芦原博幸会長)

●期日・11月18日(水)

●会場・甲佐小学校体育館

募集

地球にやさしいエネルギーの啓発ポスターを募集

御船地区衛生施設組合では、地球温暖化現象を通して地球にやさしいエネルギーの利用を呼び掛ける啓発ポスターを募集します。

▼テーマ

「地球にやさしいエネルギー利用」

▼募集期間

12月24日（木）～平成28年1月29日（金）

▼応募資格

同組合管内の小学4年生から中学生まで

▼応募要領

・作品は1人1点です。
・ポスターの裏面に学校名、学年、氏名を明記してください。

・貼り絵やパソコンなどを利用したものは、審査対象外となります。

・提出された作品は、展示後に返却します。

・優秀作品は、同組合の発電表示パネルに掲示します。

・同組合ホームページにも要領を掲載していますので、ご確認ください。

▼ご応募・お問い合わせ先

御船地区衛生施設組合

096・282・2970

URL <http://mifuchikisei.or.jp>

陸上自衛隊高等工科学生を募集しています

自衛隊熊本地方協力本部では、平成27年度陸上自衛隊高等工科学校生徒を次のとおり募集します。

▼応募資格

中卒（見込みを含む）で17歳未満の男子

▼応募期限

平成28年1月8日（金）

▼試験期日

・1次試験

平成28年1月23日（土）

・2次試験

平成28年2月4日（木）～7日（日）

▼入（校）隊日

平成28年4月上旬

※なお、自衛官候補生については、年間を通じて募集しています。

募集案内の詳しいことは、お問い合わせください。

▼ご応募・お問い合わせ先

自衛隊熊本地方協力本部

0964・23・2047

くらし安全

振り込め詐欺が多発しています

年末年始は、例年、金融機関などを狙った強盗事件や車上狙

い、乗り物盗（オートバイ盗、自転車盗）、万引きなどの街頭犯罪が多発します。

・車上狙いに遭いやすい車
・バッグやパソコンなど金目の物が残されている車

・エンジンがかけっ放しでコンビニなどに駐車している車

・深夜、自宅前の屋外車庫や暗い駐車場にある車

・カーナビやカーステレオなどの高額部品が付いている車

また、車の利用も増え、交通事故も増加します。地域ぐるみで犯罪や交通事故などを未然に防止しましょう。

不審な人物を見掛けたら、すぐに110番通報をお願いします。

▼お問い合わせ先

御船地区防犯協会連合会（御船警察署内）

096・282・1110（内線261・264）

Event

町生涯学習センター・ギャラリーモール展のお知らせ ～12月～

●人権週間作品展

▶期間 12月4日（金）～9日（水）

●映画看板絵師 田上賢二追悼展

▶期間 12月11日（金）～25日（金）



◀11月の展示会
「産業文化祭作品展」

●お問い合わせ先 町教育委員会社会教育課 ☎096-234-2447 ✉k1g110@town.kosa.lg.jp

町ノルディックウォーキング教室を開催

町教育委員会では、町民の健康保持増進と体力づくりを目的として、甲佐発電所導水路トンネルを見学を兼ねた町ノルディックウォーキングを開催します。

多くの方の参加をお待ちしています。

●日時

12月12日（土）午前8時30分

●集合場所

町生涯学習センター

●講師

稲田真一さん（全日本ノルディックウォーク連盟指導部講師）

●参加料 無料

●定員 25人（先着順）

●お申し込み・問い合わせ先

町教育委員会社会教育課

☎096-234-2447

甲佐町総合型地域スポーツクラブ「I・YOU スポーツクラブ」12月のアユスポ・カレンダー



バスケット教室

島中 幸子さん（下横田区）
佐村 真弓さん（上早川一區）

女性の会員待ってます

●スポンジテニス&バドミントン

甲佐小体育館 月曜日 午後7時30分

●少年柔道

甲佐中武道館「甲心館」

月・水・金曜日 午後7時

●卓球

町生涯学習センター

水・金曜日 午後7時30分

●サッカー教室

緑川グラウンド 木曜日 午後7時

甲佐小グラウンド 土曜日 午前9時

●バスケットボール教室

甲佐小体育館 火曜日 午後8時

●ジュニアバスケット教室

白旗小体育館 火曜日 午後7時30分

甲佐小体育館 土曜日 午前9時

■お問い合わせ先

I・YOU(アユ)スポーツクラブ事務局
(町教育委員会社会教育課内)

☎096-234-2447(内線325)

✉k1g110@town.kosa.lg.jp



産業文化祭に出品された農作物

うたごよみ 一師走一

「短歌」

渡辺幸士 選

案山子さん稲田の中に入るなど両手広げて見
張り続ける 清田ひで子
蜘蛛の網に蟬の亡骸かかりいて夕立に濡れし
ずく光れり 上村 かず
姉妹旅阿蘇の五岳を遠く見て露天の風呂で背
な流し合う 池田キヨ子
ラクビーの試合テレビで観戦し日本選手の指
組み真似る 上村やす美
妹と御船のお湯へ久しぶり話弾みて疲れて帰
る 赤星 文子
農に生き老いたる夫の正装は先に旅立つ知人
送る日 塚原 暁益
身構えて一気に飛ばす古いパワー今日も遊べ
りランドゴルフ 吉永由紀子
独り居で手間暇かけた料理にも食べる人なく
褒める人なし 内田乃武子
楽しげに修学旅行語る孫一步一步と成長しお
り 緒方 明美
入りつ陽のひかりを受けて鈴なりの熟れし柿
の実鮮々と照る 森田 房恵
廃屋の庭隅に立つ金木犀朝な夕なに甘き香放
つ 塚本 俊子
秋分のお寺参りの道連れと生け垣廻り賑わい
別る 赤星 延子
信号に進路閉ざされひと呼吸ついて暮らしの
自由を思う 渡辺 幸士

「川柳」

渡辺幸士 選

「紅葉」

紅葉する木々も見えない侘住まい 本田長久子
五箇荘紅葉見頃と報道で 古閑チヨミ
紅葉狩り若き日の秋思い出す 布田 愛子
紅葉散りわたしの背中花もよう 安浪 アキ

「ぼつぼつ」

焦らずにぼつぼつ行こうわが道を 林 雅之
ぼつぼつと独りの夕餉支度する 清川みどり
人生の終着駅へぼつぼつと 渡辺 幸士

「肥後狂句」

北川直美 選

くたびれた 旅のみやげの多かこつ 広田みどり
くたびれた 金婚までの長ア道 下山 千恵
くたびれた 同窓会で見栄はって 志垣 光
くたびれた 年の量より働いて 佐藤 葵
くたびれた 振り回された年でした 北畑 公美
くたびれた 焼酎一杯ア呑もうかな 木村 陽菜
くたびれた 三途の川も見えて来た 布田かな
くたびれた 私の靴も底の抜け 平井やよい
くたびれた 生きとる丈の医者通い 長原 産賀
くたびれた 親に貰うたフライパン 佐野しろう
くたびれた どうでん出来た男飯 光永 六
くたびれた 畳と亭主替ゆごたる 井元あざみ
くたびれた そろそろ自首のし時かな 北川 直美

■お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
096・234・2447 (内線321)

birth お誕生おめでとう

住所	氏名	性別	保護者
津志田	小谷 八雲	男	英 史
下横田	山崎 和奏	女	優 一
津志田	山崎 斗李	男	啓 介
西寒野	高木 大翔	男	翔 太
府 領	舩永 海琉	男	将 吾

marriage ご結婚おめでとう

住所	氏名
〔夫〕 田 口 福島 拓弥	
〔妻〕 福岡県 本郷 聡子	
〔夫〕 糸 田 緒方 一仁	
〔妻〕 熊本市 久木田 友美	
〔夫〕 早 川 山下 信介	
〔妻〕 熊本市 岸谷 鮎美	
〔夫〕 嘉島町 内藤 幹朗	
〔妻〕 津志田 一圓 恵	
〔夫〕 安 平 山本 貴典	
〔妻〕 熊本市 大城 千夏	

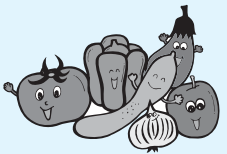
condolence お悔やみ申し上げます

住所	氏名	年齢	世帯主
豊 内	赤星 敬規	65	三枝子
上早川	宮部 利夫	86	ケイ子
津志田	西口 孝節	80	節 子
西寒野	村上マツエ	101	マツエ
南三箇	松本ハルコ	92	三 幸
上早川	本田 龍一	51	龍 一
田 口	有田 敬子	86	潔 司
下横田	溜渕アサ子	89	アサ子
船 津	金森 義高	81	昭 一
白 旗	井芹 秀義	83	明
船 津	仲原 征吾	76	正 照
田 口	古田 信房	83	マツ子

項目	数	増減
男	5,284	△ 5
女	5,873	△ 9
計	11,157	△ 14
世帯数	4,302	0

平成27年10月31日現在

こうさの野菜で作ってみよう！



レシピ提供：料理研究家 沼田峰子さん（北原区）

カボチャの炊き込みご飯

ご存知ですか？

緑黄色野菜の代表とも言えるカボチャは、ビタミンA、C、E、βカロテン、食物繊維などたくさんの栄養を含んでいます。そのため、がんの予防、風邪の予防、老化防止、前立腺肥大の予防などや美容にも良いおすめの食材です。



材料（4人分）

カボチャ …………… 8分の1個
米 …………… 3カップ
チリメンジャコ …………… 30g
酒 …………… 小さじ2
ヒトモジ …………… 3本
だし汁 …………… 適量
※炊き込みごはん用調味料
酒 …………… 大さじ2
みりん …………… 大さじ1
薄口しょうゆ …………… 大さじ2
塩 …………… 小さじ2分の1

作り方

- ①お米を洗ったら、ざるに上げておきましょう。
- ②きれいに洗ったカボチャは種と綿を取り、皮ごと2割くらいの食べやすい大きさに切りそろえておきます。
- ③チリメンジャコはサッとお湯を回し掛け、しっかり湯切りをして酒を振っておきます。
- ④炊飯器に①のお米、炊き込みご飯用調味料、炊飯器の3カップの目盛まで水を加えてから、カボチャとチリメンジャコを上に乗せてスイッチを入れ、いつも通りに炊き上げます。
- ⑤炊き上がったなら10分くらい蒸らし、小口切りにしたヒトモジを全体に散らし、切るようにして混ぜ合わせましょう。

編集後記

わが家では、犬を1匹飼っています。私が夜遅くに帰宅しても、必ず寝床から起きてきて顔を見せてくれるところがとてもかわいい家族の一員です。

白旗小学校で開催された「犬とのふれあい方教室」では、犬の習性や触れる時の注意点などを県動物管理センターの職員から教わりました。

言葉を話せない犬はしつぽで感情を表現するため、触れる前にまずは手のおいを嗅がせてしつぽがどう動いているかを確認して、犬の気持ちを知らることが大切です。上を向いているなら「触っても大丈夫」のサイン。頭を撫でるよりも、あごの下をくすぐるように撫でるほうが犬は喜びそうです。

相手の気持ちを考えて行動することは、犬も人間も同じだと感じ、わが家でも実践してみようと思った1日でした。（み）

相手の幸せを考えることが 人権問題の解決への第1歩

『人権週間』が、多くの住民の皆さんの、『みんなが幸せに暮らせるためには』という気持ちで人権について向き合う良い機会になれば」と話すのは、甲佐町「人権週間」実行委員長を務める豊永康法

さん（横田区）。
12月4日（金）～10日（木）の第33回甲佐町「人権週間」は、憲法で保障する基本的人権の尊重と町民の人権意識の高揚を図ることを目的に、人権啓発に関する各種行

事が開催される。
人権擁護委員も務める豊永さん。法務大臣が委嘱したボランティアである同委員は、地域で人権に関する相談や調査、啓発活動を行う。本町で活躍する4人の委員は、子どもや高齢者、障がい者や男女間の人権啓発などに関する活動として、中学校などを訪れて人権寸劇をしたり施設訪問などを行う。また、町総合保



豊永 康法さん
Toyonaga Yasunori

〔横田区〕

とよなが やすのり / 第33回
甲佐町「人権週間」実行委員
長。人権擁護委員として人権
啓発に取り組み、人権相談に
応じるなど精力的に活動

健康福祉センターで月に1度の人権相談のほか、熊本地方法務局に寄せられる電話などでの人権相談にも応じている。
さまざまな人権相談に応じている豊永さんは、「最近ではSNSなどのインターネット上での子どもへのいじめやパワハラスメントなども多くなり、相談内容も多様化しています」と実感する。「しかし、どんな人権問題でも、コミュニケーションを取り相手の気持ちを思いやることが、解決の糸口になります」と町民に向けて優しくアドバイスを送る。
仕事でも家庭でも、自分の意識していないところで起きている可能性がある人権侵害「話をすることで気付くことがあったり、気持ちの整理が付いたりすることもあります」と豊永さん。「私たち人権擁護委員は、少しでも皆さんの役に立てればという気持ちで活動しています。困ったことや話を聞いてほしいことがあったら、私たちにお気軽に相談してください」と穏やかにSOSを受け止める。